

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
・2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所 자체が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響で、利用者が直接かかる機会がなくなったが、地域住民から認知症の相談をあれば対応をしている。	コロナ感染予防の為、出来る事が限られてしまう。電話で相談があり、対応を受け付けている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で稼働状況、行事、事故やヒヤリハット内容を報告。助言を得ている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ関連、運営推進議事録持参等、協力関係を築けるようにしている。	コロナ関連について、京都市に電話で問い合わせる等、協力を頂いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員が拘束について理解しており、自身の言動が拘束や虐待につながらないか、気を付けている。不適切ケアとしてヒヤリハット報告を作成している。		A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアの内訳として、言葉使いが多かったとのこと。ヒヤリハットを通して事業所内でも共有できている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記内容に加え、拘束や虐待防止に関する研修に参加している。		A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人が作成した動画を研修に活用しているとのこと。コロナで不便な事が多いが、動画研修が出来たことは、良かったと思います。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合って、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体の研修があり、出席し事業所内に伝達している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時はグループホーム職員だけでなく、入居担当者も同席。入居時に口頭と書面で説明を行い、改訂等あればその都度説明を行っている。			

9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各階入り口に意見箱を設けてい る。また年に一度家族宛にアンケ ート調査を行い、意見の反映に 努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできっていない D. ほとんどできていない	家族宛アンケートについて、無記名 で行う事で意見を言いやすいとおも います。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月ユニットごとにカンファを開 き、業務に関する意見を聞く機会 を作っている。早急に対応する物 はその都度反映させている。ま た、定期的に面談を行っている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心を 持つて働くよう職場環境・条件の整備 に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回職員の力量評価を行い 面談も行っている。面談時、職員 本人の意向を聞き取り、向上心を 持つて仕事ができるように努めて いる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常勤、非常勤共に面談を行い、遣り 甲斐や今後の方向性、困っている 事、労務面のこと等、聞き取って いる。出来るだけ職員の意向が叶う よう努力している。
12	職員を育てる取り 組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケ アの実際と力量を把握し、法人内外の研 修を受ける機会の確保や、働きながらト レーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を活用し、力量 に応じた研修の参加の機会を設 けている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洛和会は法人全体でキャリアパス制 度があり、GH百万遍もキャリアパス 制度を活用できている。
13	同業者との交流を 通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交 流する機会を作り、ネットワークづくりや 勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ ービスの質を向上させていく取り組みをし ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部の研修を通じて交流の機会 を設けている。		
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかげ、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に人生の先輩である等意 識を持ち、日々の家事や生活に ついて意見をもらえるような雰囲 気作りに努めている。		
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が家族だけではなく、親戚 や馴染みの者への連絡を希望さ れた時、電話や手紙でやりとりで きるよう、支援している。	コロナ禍で面会出来ない中、利用者 が望む形(手紙、電話)でやり取りで きるよう、工夫している。	
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話の中から本人の希望や意向を探っている。また、利用者の想いを専用用紙を用いて職員一人一人がまとめ、話し合う場を作っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話や、家族様からの情報を聴いて、さらに職員の意見も加えて介護計画を作成している。	自分から要望等、伝えられない利用者が多い。普段の様子、関わりを職員間で共有し、プランに活かすようにしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に記入し、日々申し送りや申し送りノートを活用して見直している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に記入や申し送り等、細やかに行えている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況を見極め、柔軟に対応できるように努めている。ホーム内だけで解決しようとせず、他サービスや事業部へ相談もしている。	「地域包括支援センターにもご相談いただければ、力になれることがあります」とのこと。法人内だけでなく、地域包括支援センターにも相談することで、より柔軟な対応ができる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流が難しい中、出来るだけ本人の意向に沿うよう、努力している。	以前開催していた「認知症ネット」で交流できるようにしたい。コロナが落ち着けば、参加できる催しもある(過去、高野中学で開催されたお祭りに他法人が参加。好評だった)。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居後も希望にそって長年通ってきたかかりつけ医を利用できるように支援行っている。また、入居後も柔軟に対応し、24時間体制での医療連携を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院の相談員と連絡を取り合い、相談しやすい関係作りに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で面会、面談が出来ず、書面と病院相談員とのやり取りのみで状態の把握を行っている。日頃の関係つくりも大切。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	家族と終末期について話し合い、緊密に連携を取り合いながら臨終に立ち会える医師を探すなど		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	今年は看取り事例はなかったが、飲食出来なくなった事例があった。家族、本人が望む終末期を迎えられる

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	D. ほとんどできていない 対応している。		D. ほとんどできっていない ようホームで看取る場合、病院へ入院する場合の両方を説明し病院へ入院、退居された	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員の職員が救急救命の講習を受講している		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練を2ヶ月に一度ホーム独自で実施し、年に2度消防署職員を交えた消防訓練を行っている。	コロナ感染予防の為、利用者参加の訓練は行えなかった。他法人も同じ状況とのこと。 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2021年からBCP対策の算定が義務化。法人として全体で整えていくと思いますが、今後も意見交換をお願いします。
<b>III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関わりについて話し合える機会をカンファという形で儲け、一人一人意識して行なっている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不適切ケアをヒヤリハットで報告する等、丁寧な関わりを目指し実践している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り利用者それぞれのペースにあわせ、希望に沿えるような支援を行っている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苦手な食材があるときは、他の物を提供している。食器を盆にのせてもらう等、出来ることを見つけて一緒に行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苦手な食材がある時は、他献立を提供していること、丁寧な対応が出来ている。コロナ対策の為、調理を一緒に行っていないが、片付け等、出来る事を行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々にあわせた食事形態や水分量などを意識し提供している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に歯科医の健診や口腔ケアなどを受け、その指示に従い毎日の歯磨きやうがいなど行っている。;lkfgd	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の歯科医と連携している。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者の生活リズムに合わせた声かけや、医療職の指示に従った排便コントロール行っている。各利用者にあった便秘予防を主治医や看護師、職員間で検討し、便秘解消に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間を決めず、個別に排泄のリズムを把握しトイレ誘導を行っている。医療と連携し、便秘解消に努めている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日出来るかぎり利用者の希望に沿えるよう入浴介助行っている。拒否があるときも、そこでわりではなく声かけの方法や時間を変えて行うようにしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者の日々の状態からそれぞれ休息をとれるようにしている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の薬説明書を一冊のファイルにまとめ、職員が誰でも直ぐに閲覧できるように事務所にて保管している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の薬説明書を活用し、一目で薬を把握できるよう工夫している。ヒヤリハットで共有もしている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者にそった役割や楽しみについてケアプランにて職員が共有している。	個々の通り甲斐や楽しみを把握し、機会を作り提供できるよう、工夫している。		夕刊を取りに行く等、日常生活の中で行えることを大切にしている。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防の為、現在は外出、面会ができないが、以前はその日の状態や天候に合わせて散歩などで外出していた。普段はいけないようなところでも、個別行事と言う形で外出していた。状況が落ち着けば再開したい。	どこの事業所も外出は行っていない。機会があれば、外出支援を再開したい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の要望があれば、家族にも説明し、本人が納得できるよう現金を所持している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話をかけたい、との希望があれば、時間などを考慮しその都度架電できるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者とともに花の飾り付けや壁に飾るタペストリーなど製作を行い、季節に沿った空間となるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングや居室に利用者と一緒に作成したカレンダーや飾りを行っていること。

#### IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何事にも、その時の気持ちや意向をくみ取るようにしている。自分から意向を表しにくい場合、何種類かの候補から選択できるような声かけを行っている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートにてこれまでの暮らしや生活歴を把握している。また、日々の会話からも随時情報収集を行って共有している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診時、本人が医師に症状を伝えたり説明を受けられるような対応を心掛けている。職員は本人の意向を代弁できるようにしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向を代弁できるように心がけていたり、本人が希望する病院を主治医として往診してもらえる等、支援している。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に本人好みの服や、なじみの深い服などを持参してもらっている。また毎日化粧をする利用者には継続できるよう支援している			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇や化粧品等、本人が大切だと思うものは身近に感じられるよう、工夫している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仏壇や好みの化粧品など、本人が大切にしているものを提供できている。	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人一人で外出は出来ないが、希望があれば出来るだけ、意向がかなえられる様、努力、工夫をしている。	コロナ感染予防の為、外出は出来ていらないが、希望や意向はくみ取り、対応している。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は各利用者の出来ること、出来ない事を把握し、生活の様々な場面で行える機会を提供している。ケアプランにも記載し、同じ対応ができるようにしている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日を通して、どこかで楽しみや笑顔になれる機会があるよう、職員は心掛けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で見つけて提供している。利用者にお礼をいえるような場面を作るよう、心掛けているとの事。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響で外出、面会の機会を持つことが難しい。落ち着けば、以前行っていた、買い物や保育園との交流を再開させたい。	感染のリスクが高く、外出は出来ない。		以前は保育園との交流もあったとのこと。コロナが落ち着けば、是非再開させてほしい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員、利用者とも馴染みの関係が構築され、困ったことがあっても、安心して暮らしている	地域交流は現在の状況では難しいが、職員とは馴染の関係が構築されている。新しい利用者でも、馴染んでもらえるよう心がけている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用年数に関係なく、馴染の関係ができるよう、働きかけている。